

共通仕様書 土木工事編 I (平成 26 年 10 月 1 日) 新旧対照表

改正内容	新 (改正後)	旧 (現行)
<p>○道路構造物の記録について、提出時期の明確化、保存資料の仕様を改正</p>	<p style="text-align: center;">(略)</p> <p>1-1-5 2 道路構造物の記録保存</p> <p>1. 受注者は、将来の維持管理に資することを目的として、<u>工事完成届提出時に</u>道路構造物の資料を下記のとおり提出しなければならない。なお、提出にあたって必要な資料は監督員から貸与を受けるものとする。ただし、<u>下記作成要領</u>により難い場合は、監督員と協議するものとする。</p> <p>(1) 対象とする構造物 トンネル、橋梁 (橋長 14.5m以上)、大型擁壁 (地震時の計算を行ったもの)</p> <p>(2) 保存資料作成要領</p> <p>1) マイクロフィルム : 1 部</p> <p>① マイクロ写真用 35mm フィルム使用。</p> <p>② 1 コマにつき図面関係は 1 枚、計算書は 4 枚収めること。</p> <p>③ 撮影は 1 コマ毎に通し番号を入れて行うこと。番号はフィルムで目視できる大きさとすること。</p> <p>④ フィルムはフィルム用ジャケット (6 コマ収納) に入れて提出すること。</p> <p>2) <u>図面</u> の縮小版 : 3 部 (A 4 版)</p> <p>① 用紙は、<u>両面印刷用の中性紙 (紙厚 (坪量) : 90~110g/m², 表面加工 : セミ光沢/半光沢, 白色度 : 80%以上)</u> を用い、図面、計算書とも A 4 版を原則とする。</p> <p>② <u>上記用紙を使用し縮小版を作成する際は、マイクロリーダープリンターによるダイレクト印刷とし、解像度は 600dpi 以上とする。</u></p> <p>③ 巻末に地質調査資料 (調査孔位置図、柱状図、コア写真、その他必要資料) を縮小せずに綴じ込むこと。</p> <p>④ 製本は厚紙黒表紙を用い、金文字で記入のこと。</p> <p style="text-align: center;">(以下略)</p> <p style="text-align: right;">(H27.5.1)</p> <p style="text-align: center;">— 51 —</p>	<p style="text-align: center;">(略)</p> <p>1-1-5 2 道路構造物の記録保存</p> <p>1. 受注者は、将来の維持管理に資することを目的として、<u>竣工した</u>道路構造物の資料を下記のとおり提出しなければならない。なお、提出にあたって必要な資料は監督員から貸与を受けるものとする。ただし、<u>これ</u>により難い場合は、監督員と協議するものとする。</p> <p>(1) 対象とする構造物 トンネル、橋梁 (橋長 14.5m以上)、大型擁壁 (地震時の計算を行ったもの)</p> <p>(2) 保存資料作成要領</p> <p>1) マイクロフィルム : 1 部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マイクロ写真用 35mm フィルム使用。 ・ 1 コマにつき図面関係は 1 枚、計算書は 4 枚収めること。 ・ 撮影は 1 コマ毎に通し番号を入れて行うこと。番号はフィルムで目視できる大きさとすること。 ・ フィルムはフィルム用ジャケット (6 コマ収納) に入れて提出すること。 <p>2) <u>完成図</u> の縮小版 : 3 部 (A 4 版)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 用紙は、<u>プロジェクションペーパー (P L 100 WP</u> <u>_____)</u> を用い、図面、計算書とも A 4 版を原則とする。 _____ _____ ・ 巻末に地質調査資料 (調査孔位置図、柱状図、コア写真、その他必要資料) を縮小せずに綴じ込むこと。 ・ 製本は厚紙黒表紙を用い、金文字で記入のこと。 <p style="text-align: center;">(以下略)</p> <p style="text-align: center;">— 51 —</p>